

# 第549回 テレビ岩手 放送番組審議会

1. 日 時 2019年2月19日(火) 午後1時30分～

2. 開催場所 テレビ岩手 6階大会議室

3. 委員総数 9名

出席委員 9名

委員長	三浦 茂樹
副委員長	恒川 かおり
委員	大橋 綾子
委員	佐藤 健志
委員	加藤 千晶
委員	高橋 司
委員	渡辺 理雄
委員	前田 千香子
委員	石田 亨

欠席委員 0名

社側出席者 檜崎 憲二(取締役会長)  
榎野 信治(代表取締役社長)  
青山 尚之(専務取締役 兼 営業局長)  
柴柳 二郎(報道制作局長)  
遠藤 隆 (編成局エグゼクティブ・プロデューサー)

事務局 畑山 篤(取締役編成局長 兼 放送番組審議会事務局長)  
平山 亜希子(編成局編成業務部副部長)

#### 4. 議 題 2/02 (土) 16:00~16:56 放送

##### 1. 文化庁芸術祭賞受賞記念番組 ガンコ親父と7人の子どもたち

酪農大家族24年の記録

##### 2. その他

#### 5. 資 料 (資料として以下のものを配布)

- ・視聴者からのご意見

#### 6. 意 見

##### 委員側意見

○家族の在り方、家族のルールをこの番組で改めて考え直す機会になった。

○信念を曲げないお父さんが、厳しい冬の時期の牛の世話にまつわる対立で、ご長男が「焦っていた。」と言ったときに「俺もお前以上に焦っているよ。」とお父さんが告白されたりと、理想と現実のはざまで、価値観の違いをしっかりと双方が受け止める関係が親子でできているというのが感動した。

○カメラワークとかドローンでとらえた風景が本当に美しく、最新の技術を使って作られているのだろうなと思った。

○親子の対立のシーンなどは、どうやってその取材に行きついたのか。

○番組のなかで、貧乏からの脱却とか、山地酪農だと牛乳の生産量が3分の1だとか、収入が4倍になったとか、経営の事に触れているような言葉があったが、もう少し具体的な数字とか、大変だということがわかるような説明があると良かった。

○山地酪農は、突き詰めていけば、現代の酪農に関するアンチテーゼをいっぱい含んでいるものだと思うが、そのことには敢えて掘り下げて触れずに、家族に焦点を当てたことは私はとても見やすいと思った。

○重箱の隅をつつくような事だが、7人兄弟の9人家族の話ということだったがどうしても6人しか出てこなかった。

○吉塚さんが山地酪農という理念を愚直に実践するチャレンジャーであり、サラリーマン生活をしていると、とても考えられないような生活をされているのが第一に面白く、長年の取材で、子供たちが成長していく過程を見られて、牧場経営と営業と乳製品づくりと、それぞれ子供たち息子たちが個性を發揮していくところも興味深かった。非常に取材者との関係が密接だからこそ作れたドキュメンタリーだったと思う。

○山地酪農自体の事だが、吉塚さんが言う「安定農家」という意味が分からなかった。

○昔の牧場と今の牧場がずいぶん違っていると思うので、そういった変化も映像で知ることができた。

○ありがちな大家族のドキュメンタリーということではなくて、やはり田野畑という地理的にも条件や自然環境も厳しく、千葉県出身の吉塚さんが40年前に入植して始めた

山地酪農というドキュメンタリーの土台となる部分があったからこそ、子供達の成長とかその家族の絆とかがより番組も際立っていると思ったし、非常に番組に深みを与えているし、また観る人を惹きつけるような作品だなと思った。

○最初は子供達が非常にかわいそうだなという印象が率直にあった。ちょっと間違うと危ないなという感じもしたが、見進めていくうちに家族の愛情や葛藤とか、子供達の成長、そういった姿を見ることができて、見事な子育てだと感じた。

○口論しているところが何を言っているのかわからないとか聞き取りづらく、時々字幕が入っていたが出来るだけ入れた方が良くわかったのかと思う。それから24年間のドキュメンタリーなので、時間軸があって定期的にはところどころでは何年というのが入っているが出来るだけこれも入れると時間軸がわかって良かったのでは。

○食事の前に挨拶なさることを見て家族や社会で生きていく上で一番大事な事が挨拶だと教わっている。人間の社会の一員であるという原点は家族という事を、非常に実感し、いい映像だったと感じた。

#### 局側意見

○親子のけんかの場面を撮影できたのは、父と長男が見つめ合って話をしているが、それだけ事の重大さに対して真剣なのであって、我々の事をとやかくしている場合ではないと、そういう捉え方をする家族だったのではないかと感じる。

○兄弟の7人目が産まれた事を入れなかった。7人目が産まれたところを家族が撮っていて、後日公開の映画の方には入っているがこちらでは入っていなかった。

○山地酪農が凄く特殊で、吉塚さんは、自分たちが優れていて一般の飼い方をしている人が違うということではないと、自分は酪農家の一人としてやっていくという覚悟があり、番組にも何も注文つけないが、一般の酪農家と対立するような事だけはしたくない。自分はここで生まれ育った人間と同じようにやっていきたいのだと繰り返し話していたので、その点については気を使い、彼の生き方と山地酪農とを描くという事に徹してきた。

○先見性の話については、六次産業化の先駆けだろうと考えている。彼がお客様のところでのこにこしながらやっているところは凄いセールスマンだなと感じた。頑固さだけだったら潰れていて、その中に明るさや人を笑わせる力などがあったというのが大きかったと考える。

7. 審議機関の答申または意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日

公表の方法

- ①自社放送 2月26日(火) 11:45-11:52「あなたと歩むテレビ岩手」
- ②テレビ岩手本社での備え置き

③読売新聞への掲載（別添）

④自社 HP での掲載 <http://www.tvi.jp/banshin/index.html>